

2011.3.17「菅総理はパフォーマンスを止めよ、国民の生命と財産を守れ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

震災が起きてから一週間が経とうとしています。この間、大勢の方が亡くなりました。改めてお悔やみを申し上げますと共に、遺族の方々に哀悼の意を表したいと思っております。さらに今、救援を待っておられる方々、避難所に逃げられた方々、寒空の下でライフラインが途絶えた状況で助けを待っている方々がたくさんいらっしゃいます。一日も早いこの方々の救済を心からお祈り申し上げます。

さて、こんな惨状にも関わらず、菅政権はいまだにパフォーマンスに終始しているようで、私は腹立たしい思いでいっぱいです。先ほど、新聞記者が私の事務所にきまして、今日の午後から蓮舫大臣が都内のコンビニに品不足や買占めの視察に向かうと知らせてくれました。今はこのようなばかばかしいことをしている場合ではないのです。物資を運ぼうにも高速道路が途絶え、運ぶためのトラックもガソリンがないために物資を運ぶことができないのです。買占め云々以前に、集まってきている物資を流通させるためのルートを、政府、民間、地方自治体が一体となり確立することが先決なのです。パフォーマンスをしている暇があるのなら、お願いですからこうした整備を力を合わせてやって頂きたいと思っております。

また被災地では、避難所におられる方々が 50 万人近くおり、また、それ以

上の数の方々が被災した自宅で過ごしておられます。そう考えると、実際は、100 万人以上の方々が避難していると考えられます。つまり、被災者の為に一日に 300 万食の食糧が必要なのです。それを運ぶために一日も早く配給体制を整えて頂きたいと思います。

また、先ほど申し上げましたように、政府、官僚、経済界、与野党含めてオールジャパンでこの体制を築くことが必要です。我々自民党も、地震が起きたその日に対策本部をつくり、様々な提言を民主党にしています。我々自民党は、この時期を政争の具にするつもりは全くありません。だからこそ、菅総理は、もっと謙虚かつ素直に皆の意見を聞かなければならないのです。政治主導を謳って政務三役で物事を決めるとしてはいますが、それでは本当の現場の声が上がってこないのです。不必要な見栄は捨て、役人から知恵を拝借し、我々の意見もしっかり聞いて、国民の生命と財産を守るために全力で取り組みをして頂きたいと思っております。

そして、一番心配なのは原子力発電所の問題です。正しい情報を、国民、特に被災されている方々に伝えなければなりません。格納容器に入っている以上は、チェルノブイリやスリーマイル島のような事故は起こらないはずですが、問題は、どうやって冷却水を給水するかです。そのために、今、決死隊の方々が、自分の身を顧みずに頑張っておられます。この方々の勇気と努力に敬意を払うと同時に、この方々を支えることを政府にやって頂きたいのです。彼らの

頑張りが、国民全体の勇気の原因になるのですから、この方々が命を張って頑張っておられることに対して、大いに賞賛と敬意を表さなければなりません。最後になりますが、原子力発電所さえ封じ込めれば、多くの費用はかかりますが、日本は間違いなく復興できます。そして、復興のための資金も知恵も技術も日本にあるのです。今、自民党でも復興計画を立て、国民にお知らせできるように計画を練っており、後日、これを発表したいと思っております。今、一番大切なのは、政治のリーダーシップです。どうか、菅総理にもそのことを分かってく頂きたい。そして、被災地の皆様方には頑張ってくださいと、心からお見舞い申し上げます。そして、命を張って頑張っておられる決死隊の皆様方に心から敬意を表して、このビデオレターを終わります。皆様もどうか頑張ってください。私も頑張ります。